

令和2年度（2020年度） 横浜市職員（大学卒程度等）採用試験を実施します

1 試験区分等

受験資格や申込方法等は、4月15日（水）から横浜市職員採用案内ホームページ「始動。」に掲載する受験案内で御確認ください。

試験区分		採用予定人員	受験資格年齢 (令和3年(2021年)4月1日現在)
事務		260名程度	22歳から30歳まで
社会福祉		80名程度	22歳から30歳まで ※
心理		10名程度	
情報処理		数名	
土木		60名程度	
建築		10名程度	22歳から30歳まで
機械		10名程度	
電気		20名程度	
農業		数名	
造園		数名	
環境		数名	30歳まで ※
衛生監視員		15名程度	
保健師		15名程度	36歳まで ※
消防	【一般】	55名程度	22歳から30歳まで
	【専門】	数名	
消防(救急救命士)		20名程度	22歳から30歳まで ※
学校事務		20名程度	22歳から30歳まで

※年齢要件の他に免許・資格が必要となります。

2 日程

	試験区分	日程
申込受付期間	全区分	4月15日（水）午前10時00分～ 5月13日（水）午前10時00分
第一次試験		6月28日（日）
最終合格発表 (予定)	土木、建築、機械、電気、農業、造園、 環境、学校事務	8月14日（金）
	事務、社会福祉、心理、情報処理、 衛生監視員、保健師	8月28日（金）
	消防、消防（救急救命士）	9月4日（金）

【裏面あり】

3 主な変更点

第一次試験

- 全区分** ● 「教養」の出題分野から「人文科学」及び「自然科学」を削除します。
- 事務・学校事務区分** ● 「教養」の出題数を 60 問から 50 問に減らします。

第二次試験

- 事務区分** ● 「専門時事論文」を「論文※」に変更します。
 ⇒専門分野における時事的課題について記述する「専門時事論文」（6分野中1問選択解答）を、与えられた課題について記述する「論文」に変更します。
 ※「論文」は第二次試験科目ですが、第一次試験日に実施します。
 ※例題を4月15日（水）に採用案内ホームページにて公表予定です。
- 保健師区分** ● 「集団討論」を廃止します。

4 令和元年度（2019年度）実施結果

試験区分	受験者 (人)	最終合格者 (人)	最終競争率 (倍)	
事務	1,635	391	4.2	
社会福祉	166	99	1.7	
心理	34	13	2.6	
情報処理	13	4	3.3	
土木	93	46	2.0	
建築	45	31	1.5	
機械	13	5	2.6	
電気	19	9	2.1	
農業	17	4	4.3	
造園	28	7	4.0	
環境	33	9	3.7	
衛生監視員	70	18	3.9	
保健師	100	41	2.4	
消防	【一般】	581	110	5.3
	【専門】	2	1	2.0
消防（救急救命士）	160	55	2.9	
学校事務	104	22	4.7	
合計	3,113	865	3.6	

- お問合せ先：横浜市人事委員会事務局任用課
 電話：045-671-3347 FAX：045-641-2757
 横浜市職員採用案内ホームページ「始動。」
<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/saiyo-jinji/saiyo/>

お問合せ先

人事委員会事務局任用課長 中山 佳代子 Tel 045-671-3344